



## 持続可能な 社会考える

熱中寺子屋

**高岡**

大人向けの社会塾  
「高岡熱中寺子屋」  
の第10期が15日、高岡市の

アルミから水素を作る技術な  
どについて話す水木社長

御旅屋セリオで始まった。受講生約40人が持続可能な社会づくりについて考えた。

アルハイテック(高岡市)の水木伸明社長は「アルミ水素で脱炭素社会に挑戦」と題して講演。アルミから水素を生み出す技術の可能性や意義について紹介し

た。アルミから作った水素をエネルギーに変える実験も披露した。

シーフードレガシー(東京都)の花岡和佳男CEOは「SDGsとサステナブル・シーフード」の演目で講演した。

第10期は「SDGsを知り、実践につなげよう」をテーマに、9月18日まで講義や課外授業を計8回行う。